

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 盛岡市社会福祉事業団 盛岡ひまわり学園		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月26日		～ 令和8年 2月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	令和8年 1月26日		～ 令和8年 2月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月4日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの子どもを捉え、課題に沿った内容の個別支援計画を作成している。また、個別支援計画には保護者の思いや願いが反映されている	個別支援計画を作成するにあたり、一人ひとりの発達段階や成育歴、発達特性などのアセスメントをしっかりととり、また保護者の思いや願いを反映した計画となるよう、話し合いを経たうえで目標を設定しています。また、達成状況について確認する機会を設けています。	目標についての取り組みの様子や達成状況についても日々やり取りができるようさらに丁寧に聞き取りや情報伝達に努めていきたいと思っています。
2	保護者との連携	日々の連絡帳や送迎の際の様子や必要な事柄についてやり取りをしたり、直接詳しくお伝えした方がよいと思われることに関しては電話もしくは面談の機会を設けてお話をしたり、お子さんについて丁寧に一緒に考えるようにしています。また、普段から話しやすいような雰囲気づくりを心がけるようにしています。	ご家庭からの相談に対して専門的な立場で適切なアドバイスができるように日々研鑽を積み、職員一人ひとりの質を高めていきたいと思っています。
3	施設や地域の子どもの交流	同じ法人内や近隣の保育園と年数回互いに訪問し合う形で交流をはかっています。また、地域の子ども会(小学生)を学園に招いての交流会を行っており、インクルージョンの推進をはかっています。	保護者の方々のご理解とご協力をいただきながら、地域に開かれた施設となっていくよう、交流の機会を検討していきたいと考えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の老朽化	建物が古く、修繕や補修をしながら使用しているところではありますが、それでも水回りやバリアフリーに適していない箇所があるなどの部分で利用されている方に不便を感じさせていると思います。	現状の建物の中で工夫をして指導にあたっていますが、できることに限りがあるので、また、安心して通園することができるようにするため、今後の建て替え等も含めて検討していきたいと思っています。
2	他事業所との連携、地域全体の質の向上に対する取り組み	県内にある児童発達支援センターとの連携、また近隣の児童発達支援事業所、保育園や幼稚園等に対するのスーパーバイズについて強化していく必要があると考えます。	他の児童発達支援センターや事業所との交流、連携を図れるように自立支援協議会での情報交換や視察等を行い、また視察の受け入れ、学園主催の研修会の案内等を等して実施していきます。
3	保護者に対する研修の機会や情報提供などの推進	親子通園では保護者学習会を定期的に行っていますが、学園としても保護者向け研修会を開催するように検討していきたいと思っています。	親子通園と共催、また、保護者同士が交流しながら学べるワークショップの開催など、計画をしていきたいと思ます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 盛岡ひまわり学園

公表日

令和8年 3月 17日

利用児童数

40名

回収数

36

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	1	0	0	・走ったりすることが好きなので園庭やホールがあるのは大変嬉しく感じています。 ・十分に確保され、のびのびと活動しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	2	0	2	・働く側にならないと適切に分からない。 ・適切です。子どもたちをよく見てくださっています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	6	1	1		子どもたちが過ごしやすい環境を構築することに努めていきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	2	0	0	・なっていると思います。活動に合わせた空間で子どもたちののびのびです。	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	0	0	0	・子どものことを十分に理解してくださり適切に対応してくださっています。	定期的な研修会の開催等、研鑽に励み、より良い支援が行えるようにしていきたいと思っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	1	0	0	・合っています。	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36	1	0	0	・適切な聞き取りがあり、しっかりと作成されていると思います。	子ども一人ひとりの気持ちに合い、また保護者の方の願いや思いを反映した支援計画となるように努めていきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	1	0	0	・適切な聞き取りがあり、しっかりと作成されていると思います。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	0	・思います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	1	0	0	・色々な活動をしてくださり工夫されていると思います。	
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	34	2	0	1	・年に数回交流があり、とても楽しく過ごしているようです。 ・子ども会や保育園との交流があります。	今後も保育園との交流会や地域の小学生との交流会を定期的に行っていききたいと思っています。
保護	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	0	・初めて利用する際、1つ1つ丁寧に教えてくださり、疑問点にも分かりやすい説明で良い印象でしかなかったです。 ・いつも分からないことがあると丁寧に説明して下さります。	ご不明な点などありましたらご遠慮なく聞いていただきたいと思います。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34	3	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	35	2	0	0	・特性はずっと持ち続けるものだとして何か発達面での変化や良い兆しが見える時にぜひ親と共有してほしい。 ・連絡帳や必要な時には電話で共通理解ができています。	日々の連絡帳や送迎時、電話などでお子さんの様子について出来る限りお伝えできるよう努めていきたいと思っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37	0	0	0	・日中一時利用の際に今日あった出来事を教えて頂いたり、子どもの様子を相談できたりしている。 ・担当の先生や相談員さんとの面談や連絡帳を通してアドバイスをいただき大変助かっています。	お子さんについて共に考え、ご相談に関しては出来る限りお応えできるよう努めています。

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳やお迎え時にその都度共感的に接していただいています。ありがとうございます。</li> <li>・園で過ごす上での困りごとが発生した際にもう少し状況を先生たちの中で共有して親に伝えてほしいと思う場面がありました。</li> <li>・共感的でいつも安心して話しやすいです。</li> </ul>	お子さんについて日々の様子をお伝えする際に、課題と思われれることにもお伝えしていき、共に情報共有するとともに、お子さんにとってより良い支援についても考えていくように努めていきたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	27	5	0	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだい同士の交流の機会がなかったため、今後もあれば参加してみたいです。</li> <li>・親子で行える行事で親同士の交流もできるので楽しく過ごせます。</li> </ul>	親子で参加する行事にきょうだいの参加もご案内していましたが、きょうだい同士の交流の機会については今後検討して行きたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	0	1		相談してよいかと迷う、また、周知されていないような状況にならないよう、日頃から相談しやすい環境を作りたいと思っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	35	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	35	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にマニュアルが配られています。訓練が実施された際には連絡帳に記され、その時の子どもの様子も知ることができ、とても安心しています。</li> </ul>	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未歩行のため不安はありますが定期的に行われている避難訓練で少し安心はあります。</li> <li>・非常災害の発生に備え、定期的な避難訓練により自分の避難方法を把握している。そのため実際に起こった場合も落ち着いて避難が出来ると感じる。</li> <li>・避難訓練についてはあまり聞いたことがないので。</li> </ul>	年間計画に沿って火災、地震、水害を想定した避難訓練を毎月行っています。実施の様子についてはお伝えする機会が少なかつたと思いますので、今後検討していきたいと思っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	3	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我をした際には連絡が入り、どのような状況で怪我をしたのかくわしく説明してくれています。</li> </ul>	事故や怪我等を未然に防ぐよう心がけます。万が一起きてしまった場合には迅速かつ丁寧な対応をするよう努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生達にも慣れ、自ら進んで先生に抱っこしてもらいに行っている姿を見て安心していると感じます。</li> <li>・安心して楽しく通所していると思います。</li> </ul>	お子さんが楽しく通えるよう、一人ひとりと信頼関係を築いていきます。また、保護者の方にとっても、安心して通わせることができる場所であるよう日々努めていきたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の通所を楽しみにし、本人より今日あったことを報告してくれる。多くのお友だちの名前が出てきているため、親も楽しいことが伝わってきます。</li> <li>・にこにこしてバスに乗っています。</li> <li>・いつも笑顔で登園しています。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大変満足しています。</li> </ul>	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	盛岡ひまわり学園		公表日		令和8年 3月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クールダウンに丁度いい個室がない。</li> <li>・クールダウンする部屋や分けて遊べる部屋があれば。</li> <li>・静養やクールダウンで使える部屋が面談や来客があった場合に使えないこともある。</li> <li>・40人定員を4クラスに分けることに無理があると思う。5クラスが妥当だと思う。</li> </ul>	施設が古く設備面で不便点が多くあると思いますが、工夫をして支援にあたっていると思います。出来る限り改善できそうな部分に関しましては取り組んでいきたいと考えます。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助員や休暇への臨時的配置はされているが食事や排泄指導では不足を感じることもある。</li> <li>・定員に対しては適切なのかもしれないが、子どもの状態に対しての配置と考えると適切でない日もあると思います。支援度が高い子に対しての配慮は考慮してほしいです。</li> <li>・子どもの動き優先で、物の整理などは後でできるようにして工夫している。</li> <li>・時々足りない時がある。</li> <li>・未歩行児を始め、多様な特性をもつ子どもに対応するには職員とスペースに余裕がほしい。工夫も必要。職員配置に偏りがないか検討が必要。</li> <li>・1対1の対応が必要な時は困る。</li> </ul>	子どもの障がい特性などその子に応じて個別の対応が必要な場面もあると思いますが、職員の支援の質を高めること、またチーム内の連携で補える部分も十分にあると思いますので、今後も継続して質の向上を目指していきたいと思えます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備的には不便さを感じる。(トイレの便座が冷たい、冷水での手洗いなど)</li> <li>・テーブルや椅子などを収納できたら。</li> <li>・老朽化による生活空間の安全性に問題があると思う。</li> <li>・バリアフリーにはなっていない。</li> </ul>	トイレが和式だったり、冬でも水で手を洗うなど不便点が多く、老朽化も進んでいるため建て替えが必要な状況です。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーブが危ない。</li> <li>・日々の清掃、支援会議やケース検討会等での環境の見直しを図っている。</li> <li>・建物古く、寒さ対策等限界がある。</li> <li>・物の整理、清掃をしっかりとっている。</li> <li>・職員の努力で衛生面に気配りがされている。</li> <li>・椅子やテーブルを収納する場所があると良いと思う。</li> </ul>		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースがない。</li> <li>・場所が限られていて調整は必要。</li> <li>・午睡室、プレイルームの他、個別の配慮を行っている。</li> <li>・パニックを起こしている時、心を落ち着けたい時等に個別に対応できる場所がありません。</li> <li>・午睡室を利用する等工夫しているが落ち着ける環境空間がない。</li> <li>・廊下や午睡室を使用しているのでちゃんとした部屋がほしい。</li> <li>・多目的に使用できる部屋があると良い。医務室(および看護師)があると助かる。</li> <li>・気持ちを落ち着かせるための部屋がない。</li> </ul>		
6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の目標設定、チームごとの目標設定等目標管理シート、面談の実施をしている。</li> <li>・表向きは。</li> </ul>		
7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の本音が導き出される設問になっている？</li> </ul>		

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話す機会があまりない。クラス長会議で深められればよいが時間がない。</li> <li>・目標管理面談を実施、クラス長会議を実施、職員会議を実施。</li> <li>・業務改善につなげようとする部署の努力は感じている。ありがたい。</li> </ul>	全員で話し合う機会を設定する必要があると思いますので、検討していきたいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の機会を沢山いただけてとても学びになっている。</li> </ul>	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等訪問支援に関するプログラム作成が必要。</li> <li>・児童発達支援管理責任者の存在が心強い。公表についてはクラス内及び他クラスでも共有できていないことが多いと思う。</li> </ul>	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通のアセスメントシートの活用、支援会議、個別面談を実施。</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援会議を実施。</li> </ul>	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者が定期的に巡回して助言、提案を行っている。</li> <li>・共有しようとしている。</li> <li>・クラスの職員間では共有して計画に沿って支援を行っているが他のクラスのは共有されていない。</li> <li>・一人ひとりの子どもについて共有する場がない。知っている人だけが対応している。(対応できる)</li> </ul>	今年度は回覧での全職員への共有がなされなかったため、会議等の場で共通理解を図ることも含めて今後検討していく必要があります。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その月の計画する当番に委ねられている。</li> <li>・活動の内容に工夫やチャレンジがしにくい。</li> </ul>	年間、学期ごと、また毎月の組指導計画はクラスごとに話し合い立案し、会議で情報共有し、評価、反省の会議も行っていますが、会議が形式化して、内容を深めるところにまで至っていないと感じられるようであれば、会議の実施方法や内容について検討しなければなりません。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム内でのプログラムの目的、内容が共有されていないと感じることがある。</li> <li>・チャレンジしにくい。</li> <li>・協力が得られにくい。反応が薄い。</li> </ul>	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動の記載があっても人員やスペースにより実施するのが難しいケースもある。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼で職員全員で確認している。またクラス内で確認している。</li> <li>・その日の活動の内容の打ち合わせ程度で活動中は各自の積極的（または消極的）な支援に委ねられている。</li> </ul>	一人ひとりのねらいや活動の展開の仕方などについて詳細な打ち合わせをするための時間の確保や、チーム全員揃うことが難しい状況にあるため、調整や工夫が必要です。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終礼で職員全員で確認、報告、相談、提案している。</li> <li>・ほぼ毎日口頭での振り返りをする。日中一時支援等がありゆっくり振り返られない。</li> <li>・できるだけ行っているが、終了後に打ち合わせをする時間を毎日取れていない。</li> <li>・役割分担に偏りがあったり振り返りの時間をとることがないため、いつも同じようなことの繰り返しになっていると感じる。</li> </ul>	PDCAサイクルを定着させる必要があると思います。今後の検討課題です。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別のケース記録に記載している。</li> </ul>		

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	0	・6ヶ月ごとの見直しを行っている。 ・モニタリングのためのチームでの話し合いがなく、支援計画の見直しについて当日知ることがほとんどである。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	0	・児童発達支援管理責任者やクラス長が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0	・移行の際に情報共有を行っている。 ・並行通園児童の支援会議に出席している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0	・こちらから連絡を取り、積極的に共有するように努めている。また、その後の支援会議出席の依頼につながっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)	12	0	・連絡を取り、それぞれの事業所での様子を共有している。 ・研修会の講師を務めた。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	2	・わからない。	自立支援協議会へは定期的に参加しております。全職員への周知や報告が必要だと感じています。
	31	(31は、事業所のみ回答)	4	0		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13	0		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	・連絡帳、電話、対面、必要に応じて面談、相談受け付けを行い、共有に努めている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	1			
保護者への説明	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	・入園時に説明している。また保護者会で説明し周知を図っている。 ・より細かい部分にも目を配り、わかりやすい説明を心がけるようにした。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	・個別支援計画を作成後、保護者面談で内容等確認し必要に応じて加筆修正している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	14	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	・個別面談の他にクラス担任や児童発達支援k管理責任者が都度相談に応じている。また必要に応じて相談支援専門員にも対応してもらっている。 ・定期的ではなくても必要に応じて相談や面談が必要だと思う。	保護者と職員の間で、話しやすい関係を作りたいと思います。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	0	・運動会などきょうだいで参加できる行事を行っている。 ・保護者会や役員の保護者の方が円滑に進められるように連絡事項などの仲介補助を行っている。 ・機会をもっと増やしてもいいと思う。遠い将来のためにきょうだい同士の交流は早い段階から行いたいと思う。	

等	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	・毎月通信を発行している。 ・コドモンで都度情報共有や発信をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	・個別ケース記録はほのぼのシステムで管理し持ち出しできないようになっている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	・お知らせや通信などは分かりやすい言葉で記載するようにしている。 ・利用契約や入園説明では専門的な言葉や内容について例を挙げてイメージしやすいように努めている。 ・文字に加え、絵や図で表記している。 ・提出書類の記入の補助を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14	0	・運動会や子ども会交流会へ招待し、お互いの交流を図っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	1	・避難訓練等実施している。緊急時の対応についての保護者への周知が課題。 ・家族の方にすべてのマニュアルは周知されていない。 ・家族に周知されているかどうかわからない。	各マニュアルを作成し、それに沿った内容で定期的に訓練を実施しています。また、消防関係者や感染症対策の専門家を招いての研修も実施しています。保護者の方へはすべてのマニュアルについては周知が不十分であると思われるので、学園内に掲示する、またホームページ等を活用するなどの対策が必要だと思います。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	・避難訓練等実施している。緊急時の対応についての保護者への周知が課題。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	0	・入園時や年度の変り目に保護者に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	1	・現在の在籍児童には食物アレルギーのこどもがいない。 ・食べさせたことがない食材について栄養士による調査をして食事を提供する対応をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	・非常時の対応についての周知を徹底することが必要。 ・わからない。職員全員と全保護者が一堂に会する場面がない。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0		再発防止につながるよう、分析を行い、それを職員間で情報共有するよう今後も取り組んでいきたいと思っています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	・研修の他、虐待の芽チェックリストを作成し定期的に組み込んで振り返りをしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14	0	・状況についてクラス内で留めず児童発達支援管理責任者に相談、実施する際は保護者に説明し、個別支援計画に記載している。	